



◆道路整備・社会インフラ

市長

市民生活や経済活動に欠かせない道路ですが、昨年は、国道403号三条北バイパスの供用が開始されました。道ができることは、生活が変わることだと感じました。三条北バイパスは、視界が広がる道路で、さらに伸ばしてほしいという声も聞きます。

議長

せっかく八十里越で福島県とながるので、栄スマートインターチェンジなどへのアクセスも必要だと思います。

県央基幹病院へのアクセス向上も期待されますが、消防本部が市内で一番渋滞する場所にあることが気になります。緊急車両は安全で迅速に走行できることが重要なので、ぜひ消防本部の設置場所の問題にも取り組んでいただきたいです。

市長

公共施設のいくつかは、年季が入っているものもあるので、これら

については、単に放置することなく、難しい課題を先送りしないよう方向性をきちんと示したいです。

◆医療・健康づくり

市長

県央基幹病院が昨年3月に開院し、これまでの利用者数は想定以上でした。開院前は県央地域全体の救急車の4台に1台は県央圏域外に搬送していましたが、現在は県央地域の救急搬送の90%近くは圏域内で対応ができており、良いスタートが切れたと思っています。

議長

しかし、看護師の確保はどこでも深刻なようです。議会の視察で東京都府中市に行ったとき、至る所で看護師の募集をしていました。全国的な看護師不足に加え、都市部との賃金の格差により、三条市で手厚い施策があったとしても、地方でスタッフを集めることはかなり厳しいと感じました。

市長

医師も看護師も、この地域で働



市長

いていただくことが理想的ですが、よそで経験を積んで、また地元に戻ってきたいと思っています。できるだけにしたいです。

高齢化が進んでいる課題もありますが、高齢者のイメージはひと昔前と今とでは違いますし、時代に合った取り組みをしていかなければと思っています。

議長

高齢になっても、いろいろな事に関心や興味を持つことが大切であり、そういう形であれ、家にこもらず、外出の機会を作ることが大事ですね。

◆災害対策

市長

昨年は7・13水害から20年が経ちましたが、その間、水害対策を推進しました。しかし、地震対策はもう一段上げていく必要がありますし、まちづくりを進める中で全体で考えていきたいです。

議長

7・13水害や7・29水害の避難所対応などで得た貴重な教訓は生かされるべきだと思いますし、常々対応を検証し、日頃からの連携体制が必要だと思っています。

市長

人口が減少すると空き家が増え、放置されるといろいろな面で危険なため、皆さまと一緒に手を打っていくことが大事だと考えています。昨年は一層空き家対策に取り組みましたが、三条市には空き家の相談窓口があるということが市民に浸透してきていることはよかったと思っています。

議長

空き家はすごいスピードで増え

わが家は、母に孫の世話をお願いしています。いきいきと健康でいられるまちづくりが大事だと考えています。

議長

私は健康維持のためにも、とにかく毎朝栽培している作物を見外に出ています。作物の販売はインターネットでも手軽にできますが、作物を見る目を養うことが大事だと考えています。栽培する前から販売先を考えるのではなく、まずは良いものを栽培する技術を身に付けることが基本です。

◆今年の抱負

市長

ていくと思います。地震が起きたときに倒壊の危険もあります。災害対応にも関係するので、さまざまな対策が必要だと思います。

人口が減ることを踏まえて、公共施設の在り方や、学校の適切な配置の検討など、先を見据えた活動を一年間しっかりとやっていきたいです。

議長

昨年、市長と一緒に、県央基幹病院へのアクセス改善に向けた国道289号バイパス(仮称)石上大橋下流橋等建設の要望のために国に出向いたとき、地元の機運を醸成し、事業の必要性を訴えていくことの重要性を実感しました。

学校の在り方の検討も始まりましたが、少子化対策など実のあるものとなるよう市長の手腕に期待しています。